

バスハイク

2A病棟 木村里佳



7月14日、3名の利用者が「若葉ケヤキモール」というショッピングセンターに買い物に行きました。曇りがちの天気にも助けられ、快適に店舗を回ることができました。

薬局では、じっくり吟味して「爪削り」を購入。爪を優しくお手入れできる道具です。最近はいろいろなグッズが増えて選べるようになり、とてもありがたいです。

その後は、食料品の店舗でお菓子などをゆっくりと見て選びました。お店でお菓子を見ながら購入できる機会はあまりありません。みんな、真剣に選びました。そしてバスに乗って帰ってくると、さっそくおやつをおいしく食べることができ、楽しい1日となりました。



お楽しみ会

2B病棟 植松晶子

7月13日に2B病棟では、毎年恒例のボランティア“Halau Na Lei O Ka Lehua”の方々をお迎えしてフラダンスを観賞しました。代表の先生の挨拶の後ダンスが始まると、楽しそうな声を出す方、笑顔の方、音楽に合わせて手や足や頭を動かす方々と、思い思いに楽しんでいらっしゃいました。3、4名ずつチームに分かれて踊っていたので、ダンスの雰囲気にも変化があり楽しめました。ゆったりしたハワイアンミュージックとフラダンスに癒され、穏やかなひと時を過ごすことができました。

最後に演者の方から「来年は一緒にフラダンスを踊りましょう」と言われ、利用者も職員も踊る練習をしましょうと声を掛け合い、来年への期待に胸を膨らませていました。



〒183-8553
東京都府中市武蔵台2-9-2
東京都立府中療育センター
電話 042(323)5115
FAX 042(322)6207

--*ホームページもご覧ください*-*-*

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/fuchuryo/index.html>

ひだまり

都立府中療育センター新聞 第547号 発行日 令和5年7月31日

通所「七夕の会」

通所 伊東洋行



働き者の織女（織姫）と牽牛（彦星）。2人は出会うとすぐに恋に落ち結婚。すると深い愛情に仕事も手につかず、怠けてしまう。こんな様子に腹を立てた織女の父である天帝は、2人を天の川を挟んで引き離してしまうが、1年に1度だけ会うことを許す…といった「七夕物語」はロマンティックな話として有名です。そんな7月7日の大イベント当日、通所でも「七夕の会」を開催しました。通所ではロマンティック路線から少し視点を変えて、天の川を挟んで離れ離れとなった2人の距離は？実際に1年で会いに行ける距離なの？なんて話に冷めてしまう方も…。

やはり、七夕はロマンティックでなければいけない、と通所では話がまとまりました。話がまとまった後は、実際に2人が出会えるようにと、サイコロを使った「七夕デート」ゲームで盛り上がりました。通所の皆様の運と優しさで、今年の織姫と彦星はめでたくデートすることができました。こんな様子で通所では七夕を楽しみました。

☆多笹に飾った皆様の願い事が叶いますように…☆多



バスハイク

3C病棟 高橋奈実



6月29日に府中市美術館へ半日バスハイクに行きました。当初はJRA競馬博物館を予定していましたが、改装工事と重なってしまい、行き先変更となりました。

当日は、ゲリラ豪雨が心配され、とても蒸し暑くなりましたが、晴天に恵まれ出発することができました。いつもはウトウトしている利用者も目をパッチリと開けてバスに乗り、笑顔も見られ車窓を楽しむことができました。

美術館の中はとても涼しく、2階に展示されていた作品（前衛画家のダイナミックな絵画作品）に利用者の視線も釘付けとなりました。美術館周辺の散策も予定していましたが、外の気温が高かったため断念し、最後にみんなで集合写真を撮ってセンターに帰ってきました。

利用者からは「もっとバスに乗っていたい」「バスから降りたくない」などの名残惜しいアピールがあるほどに、楽しいひと時を過ごすことができました。

お楽しみ会

3B病棟 中島千絵



7月7日にお楽しみ会を行いました。この日は七夕ということで、天の川（ブルーのビニール袋を開いたもの）の上に星（星型は職員が、丸い星は利用者の皆さんが活動で新聞紙やお花紙を丸めて作ったもの）を並べ、輪にした縄をその上に投げつけて引っ張り、星を集めるゲームを行いました。職員と利用者さんがペアになって職員が縄を投げ、一緒に引っ張りました。手添えで一緒に腕を動かして星を集める人、手や腕に縄をぐるっと巻いてゆっくりと引き寄せる人、利用者さんたちも職員も真剣です。

その結果予想していた以上に皆さん多くの星を集め、その度に歓声が上がりました。星を多く集めた人には、手作りのメダルの授与もありました。賑やかな雰囲気の中、利用者さんの笑顔が印象的でした。

天の川の星を集めよう！



七夕会&誕生日会&お楽しみ会

3D病棟 岡中映美里



7月6日に七夕会と7月生まれの方の誕生日会とお楽しみ会を実施しました。七夕会では利用者が書いた短冊を紹介し、七夕の歌を歌って雰囲気を感じる事が出来ました。お楽しみ会では、誕生者をリーダーとして2つのチームに分かれ「イケメンを作ろうゲーム」と題して、パーツをくじで決めて顔を作っていくゲームを行いました。呼吸器使用の利用者の方達にも参加してもらえよう、ベットサイドにくじを持って行き、順番に引いても

らいました。くじで決まったパーツを順々に貼り出していくと、笑顔になる利用者や不思議そうな顔をする利用者もいました。最後はどちらがより「イケメン」に仕上がったか、多数決で勝敗を決めましたが、どちらも個性豊かな顔が出来上がり、勝っても負けても楽しく終わる事が出来ました。



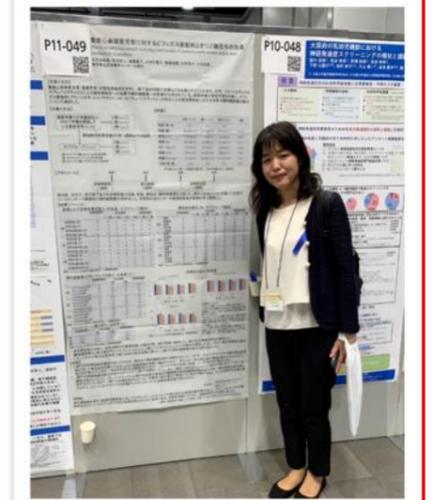
第65回 日本小児神経学会学術集会に参加して

小児科 大吉由希美

今年の日本小児神経学会学術集会は5月25日から27日まで岡山コンベンションセンターで行われ、現地開催とオンライン開催を合わせたハイブリッド開催となりました。

今回の学術集会のテーマは「先端研究と臨床的洞察の融合に向けて」でした。脳性麻痺に関するシンポジウムや倫理を語らう会などに参加し、日常診療で直面している課題のヒントを得ることができました。また、私自身は学会初日に「重症心身障害児者に対するビフィズス菌製剤とオリゴ糖投与の効果」という題名でポスター発表をしました。慢性便秘症に対する効果や腸内細菌叢への影響を検討したのですが、今後の課題も見えてきたので、今回の結果を臨床に還元できるようにしていきたいと思います。

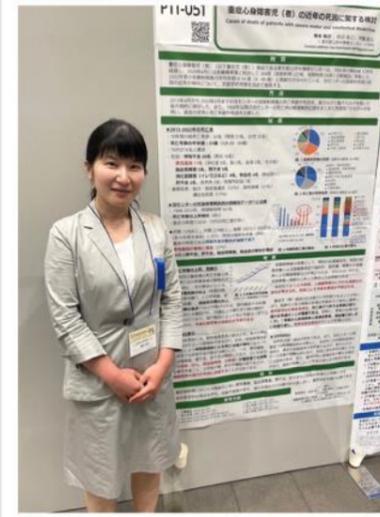
オンライン開催は遠方でもこうした各種発表を聴くことができるメリットがありますが、学会場では以前一緒に働いていた方とも会うことができ、昔の思い出話に花を咲かせたり、日常診療で困っていることなどを相談できたり、生の良さを感じました。来年の学術集会は名古屋での開催が予定されていますが、今後もぜひハイブリッド開催を続けてほしいと思います。



それぞれの発表演題のポスター前で

小児科 橋本梨沙

5月25日、岡山で開催された小児神経学会に参加いたしました。昨年に引き続き現地参加できたことを大変嬉しく思います。発表演題は「重症心身障害児（者）の近年の死因に関する検討」として、当センターの利用者さんの貴重な症例を踏まえて報告しました。



フリーディスカッション形式の質疑応答では、全国の小児神経科・療育センターなどで同じく重症児（者）の診療に携わるたくさんの先生方と、死因の変化や終末期の在り方、悪性腫瘍や呼吸不全などの診療の方針や、意思決定の方法など、診療上の疑問や悩みを共有・解決することができ、大変有意義な時間となりました。

個人的には、これまでお世話になった指導医や同期の先生方とコロナ禍を経て3年ぶりにゆっくりお話しすることができ、刺激を受け、また今後の診療や研究の動機付けとなりました。今回は時間が取れませんでした。岡山は気候も良く、後樂園や吉備津神社、倉敷の美観地区など見どころも沢山あり、また何度でも訪れたい地となりました。

今回学会で学んだことを、当センターでの今後の診療や研究に還元していけるよう、さらに研鑽を積みたいと思います。

